

令和2年9月9日

杉並区議会議長

井口 かづ子 様

道路交通対策特別委員会

委員長 岩田 いくま

### 道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

1 令和2年6月12日

(1) 報告聴取

ア 外環道の進捗状況について

(ア) 大泉ジャンクション

本線シールドマシンは、南行、北行ともに練馬区東大泉2丁目付近を掘進中。また、立坑工事及び本体との連結路の橋梁工と函渠を施工。

氷川橋の撤去が完了し、舗装の復旧等を施工。

(イ) 中央ジャンクション

中央道と連絡する橋梁の下部工事や地下連絡路の工事を実施。

(ウ) 東名ジャンクション

本線シールドマシンは、南行が調布市入間町2丁目付近を、北行が世田谷区成城4丁目付近を掘進中。また、掘削のための施工基地の整備等、準備工事を実施。

イ 杉並区の交通対策について

(ア) 自転車放置防止対策について

自転車駐車場の整備や放置自転車の撤去活動、クリーンキャンペーン等の啓発活動により、放置自転車は年々減少している。令和元年度の民営自転車駐車場の整備運営者に対しての経費の一部を補助した実績は1件。

啓発活動については、令和2年4月1日現在、366名の放置防止協力員がボランティアとして活動している。また、昨年度のクリーンキャンペーンは、5駅

(高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻窪、井荻) で実施し、延べ 232 名が参加。

(イ) 南北交通について

① 1 日あたりの利用者数 (令和元年度)

けやき路線 : 1,790 人 さくら路線 : 533 人 かえで路線 : 847 人

② 各路線の補助金額 (平成 30 年度)

けやき路線 : 4,145,410 円 さくら路線 : 6,875,874 円

かえで路線 : 17,885,901 円

(ウ) 交通安全対策について

区内の交通事故は年々減少しているが、自転車事故の割合は都内平均を上回っており、自転車の安全な利用が大きな課題と捉え、啓発活動を実施。

① 自転車安全利用実技講習

区立小学校の 4 年生を対象に、自転車の交通ルールやマナーの実技講習を警察署と協力して実施。

② スケアード・ストレート

スタントマンが自転車事故を再現し、交通事故を模擬体験する教育手法による自転車の交通ルールやマナーの講習を警察署と協力して実施。

③ 出前型交通安全講習会

幼稚園や学校、事業所などの依頼に応じ、区職員や警察官が講師として出張する出前型の交通安全講習会を実施。

④ ストップ・ザ・マナー違反自転車キャンペーン

地元町会・商店会、警察署などと協力して、歩行者や自転車利用者に自転車の安全走行を呼びかけるキャンペーンを 5 回実施 (令和元年度)。

⑤ すぎなみフェスタ

すぎなみフェスタに出展し、自転車シミュレーターを使用した交通安全教室 (181 名参加) と、自転車安全利用クイズ (1,908 名参加) を実施。

⑥ その他の啓発活動

区広報紙や区ホームページ、YouTube や Twitter などに交通安全関連記事や動画を随時掲載。